

来週の「売り物」記事はこれ



2014年8月1日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

日本陸上[男子 100m]期待の星

桐生祥秀「日本人初の9秒台」に挑む！

3日（日）



ジェット桐生——。それが小学校時代のあだ名だったそうです。日本陸上期待の星、男子100mの桐生祥秀（東洋大）選手のことです。昨年4月、17歳の高校3年生として出場した織田記念国際陸上競技大会では、10秒01という日本歴代2位の記録をマークしてからは、日本人、いやアジア人として初めて「10秒の



壁」を破るのではと期待されています。先ごろ米国開催された世界ジュニア選手権では銅メダルを獲得し、同大会男子100mでは日本勢初のメダル奪取となりました。「日本最速の男」が目指すのは世界の頂点に立つこと。武器は伸びしろのあるその若さです。見据える視線の先には、2016年リオデジャネイロ五輪、20年の東京五輪があります。洛南高校時代の恩師、陸連関係者の証言をまじえて、知られざるホープの素顔に迫ります。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

「Tokiko's kiss」

おんなのしんぶん面4日（月）

おんなのしんぶん 

加藤登紀子さんの対談コーナー「Tokiko's kiss」。今月のゲストは、女優の吉永小百合さん＝写真。初プロデュースとなった映画「ふしぎな岬の物語」に込められた思いや、ライフワークである原発をテーマにした詩の朗読、脱原発の訴えなどについて伺いました。



私の好きな場所～建築家・隈研吾さん くらしナビ面2日（土）



こだわりの家づくりを実践する人たちの「とっておきの場所」を訪れるシリーズ。今回は、世界的に活躍する建築家の隈研吾さん＝写真＝の、横浜市内にあるご実家を訪ねました。自分の原点、という実家は、亡くなった明治生まれの実父が増築や改装を重ね、工夫を凝らし、今みても斬新なアイデアにあふれています。

エクササイズで姿勢美人

くらしナビ面4日(月)

姿勢が良いと、見た目が若く、美しくみえます。普段の生活の中にエクササイズを取り入れることで、体幹が鍛えられ、よい姿勢を保つことができます。元タカラジェンヌの天霧真世さんに、手軽にできるエクササイズを教えてくださいました。姿勢維持にはまず、関係する筋肉を鍛えることが効果的だそうです。



「夏の甲子園」開幕

9日(土)から15日間

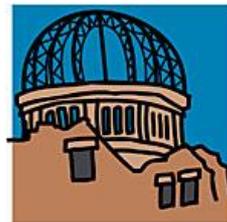


第96回全国高校野球選手権大会(日本高校野球連盟、朝日新聞社主催、毎日新聞社後援)が9日に開幕、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で15日間の熱戦を繰り広げます。49校が全国の頂点を目指します。春夏連続出場はセンバツ優勝の龍谷大平安(京都)、3季連続の甲子園となる日本文理(新潟)など8校。夏の連続出場は8年連続の聖光学院(福島)、4年連続の作新学院(栃木)など10校です。初出場は二松学舎大付(東京都)、東海大望洋(千葉)など9校で、東海大四(北海道)は21年ぶりの出場となります。組み合わせ抽選会は6日午後4時から。夏の甲子園も毎日新聞でお楽しみください。

連載「戦後70年に向けて」第3弾

「核回廊を歩く——パキスタン編」

長期連載「戦後70年に向けて」のシリーズ第3弾が2面で始まります。タイトルは「核回廊を歩く——パキスタン編」。米国が核兵器を実戦使用してから来年で70年を迎えます。その後、主要国が相次いで核兵器を取得しています。なぜ、多くの国が核兵器の取得を目指すのでしょうか。それは、唯一の被爆国である日本と、その他の国では、核兵器を見る目が大きく違うからではないでしょうか。核兵器を保有する国や核兵器開発を目指す国々を歩き、核兵器の現状、将来を考えます。担当は、編集編成局の会川晴之編集委員です。



2014年夏の平和企画「平和のとなりで」



15日の終戦の日を前に、戦争と平和を考える企画をスタートします。日本は敗戦の焼け跡から立ち上がり、不戦の誓いを胸に戦後69年間歩んできました。しかし、平和と繁栄の戦後社会の陰で、戦争と向き合ってきた人たちがいます。ベトナム戦争のころ、米軍に雇われてベトナム戦地へ派遣された航海士。防衛産業を下支えしてきた町工場の経営者。そんな人びとの思いを通して、集団的自衛権や武器輸出解禁で変わりゆく日本のいまを考えます。